

## 事業評価書

補助事業名	教育文化施設：歴史民俗資料館改修事業				
補助事業者名	武蔵村山市				
実施場所	武蔵村山市本町五丁目21番地の1				
補助事業の成果の目標	<p>武蔵村山市立歴史民俗資料館は、市民等から寄贈された郷土資料及び市内から発掘された考古資料を収蔵・展示することによって、市民生活の生い立ち、当市の郷土芸能や歴史に興味を資することを目的に昭和56年に開設したが、33年が経過し、内外壁の亀裂や屋根の一部剥落、雨漏り等による展示資料への弊害（カビ）の発生など老朽化が著しい状況である。</p> <p>また、開館当初から使用している冷暖房機4台のうち1台は使用不能であり、館内の温度調整が困難であるほか、展示室床面がめくれ上がり、つまずきの原因になるなど来館者の安全確保や施設運営に支障をきたしている。</p> <p>このことから施設の改修を行うことで、収蔵物の適正な管理環境を維持し、来館者の利便性の向上を図る。</p> <p><b>【参考指標】</b>  年間来館者数目標：16,000人（教育振興基本計画（平成24年3月策定））  平成25年度年間来館者数：18,203人  保管展示品数：約10,000点</p>				
補助事業の内容	屋根・外壁補修塗装、床シート張替、トイレ改修、空調設備改修、電灯LED化等				
補助事業の始期及び終期	平成25年度から平成26年度				
事業費及び交付金額		25年度	26年度	27年度予定	計
	事業費	円 3,885,000	円 30,996,000	円 0	円 34,881,000
	交付金額	円 1,000,000	円 13,000,000	円 0	円 14,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕 資料館改修後、来館者向けの改修に関するアンケートを実施したところ、約8割の回答者が「良い」と回答したことから、来館者の利便性の向上が図られたといえる。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市ホームページに調整交付金充当事業一覧を掲載。</li> <li>・市報に特定防衛施設周辺整備調整交付金の使い道を掲載。</li> <li>・市ホームページ資料館の「施設利用案内」に特定防衛施設周辺整備交付金を充当した改修工事实施を掲載。</li> <li>・「資料館だより」及び「三博協（多摩地区の博物館所有市町）の広報誌」に調整交付金事業で改修した旨を掲載。</li> <li>・歴史民俗資料館パンフレット作成時に調整交付金事業で改修した旨を掲載。</li> </ul>				
事業の改善措置及び今後の対応	今回のアンケート調査の結果、「高齢者が使いやすくなった」などの良い意見が聞かれる一方、「トイレに手すりを付けてほしい」との要望も聞かれたことから、今後類似の施設改修をする際は、今回のアンケート調査等を踏まえて行いたい。				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				